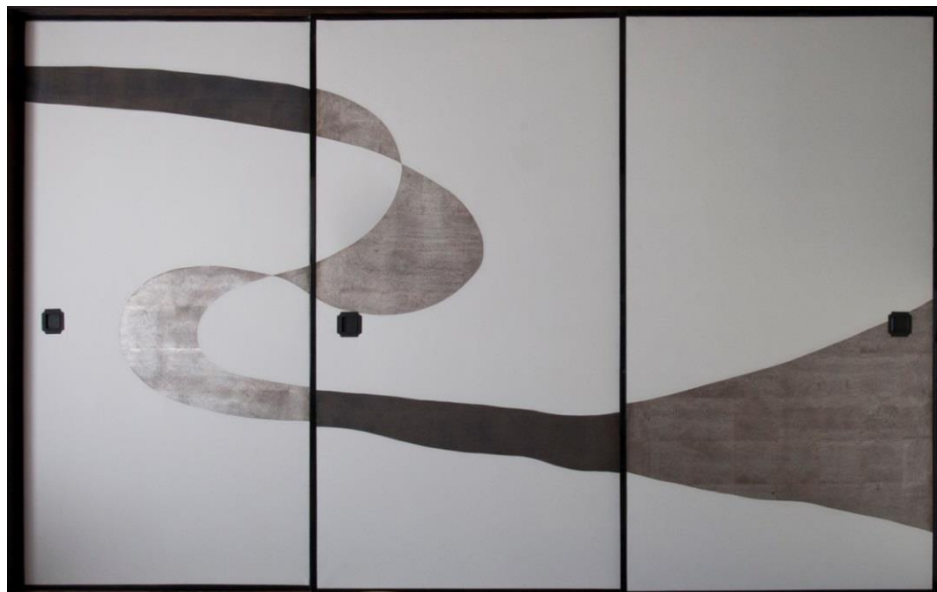


1 重森の書院のデザイン

①増井家（高松市 S31）



三面に襖絵が（2758×1730）



3682×1730・120



3600×1730

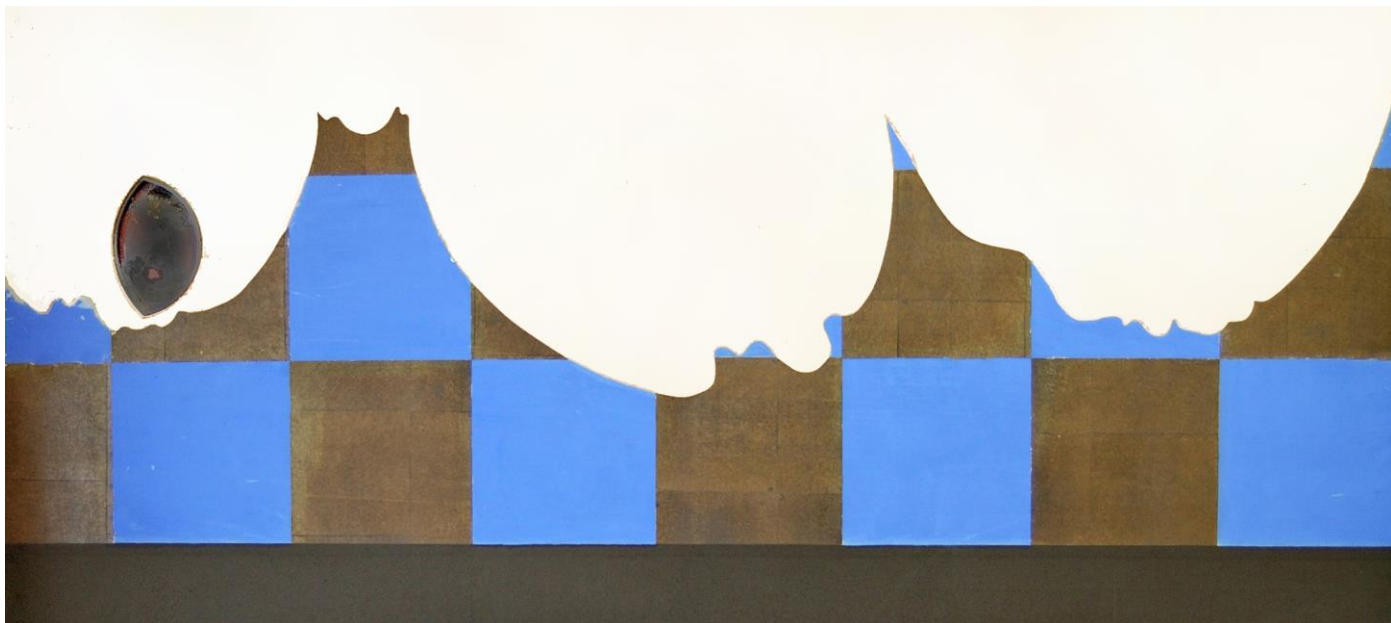


瓢箪窓は「松琴亭」由来の意匠





1・②越智家（愛媛県西条市 S32）



白牡丹の花弁を「地」でありながら、格子模様で浮かび上がらせている。



引手のデザイン

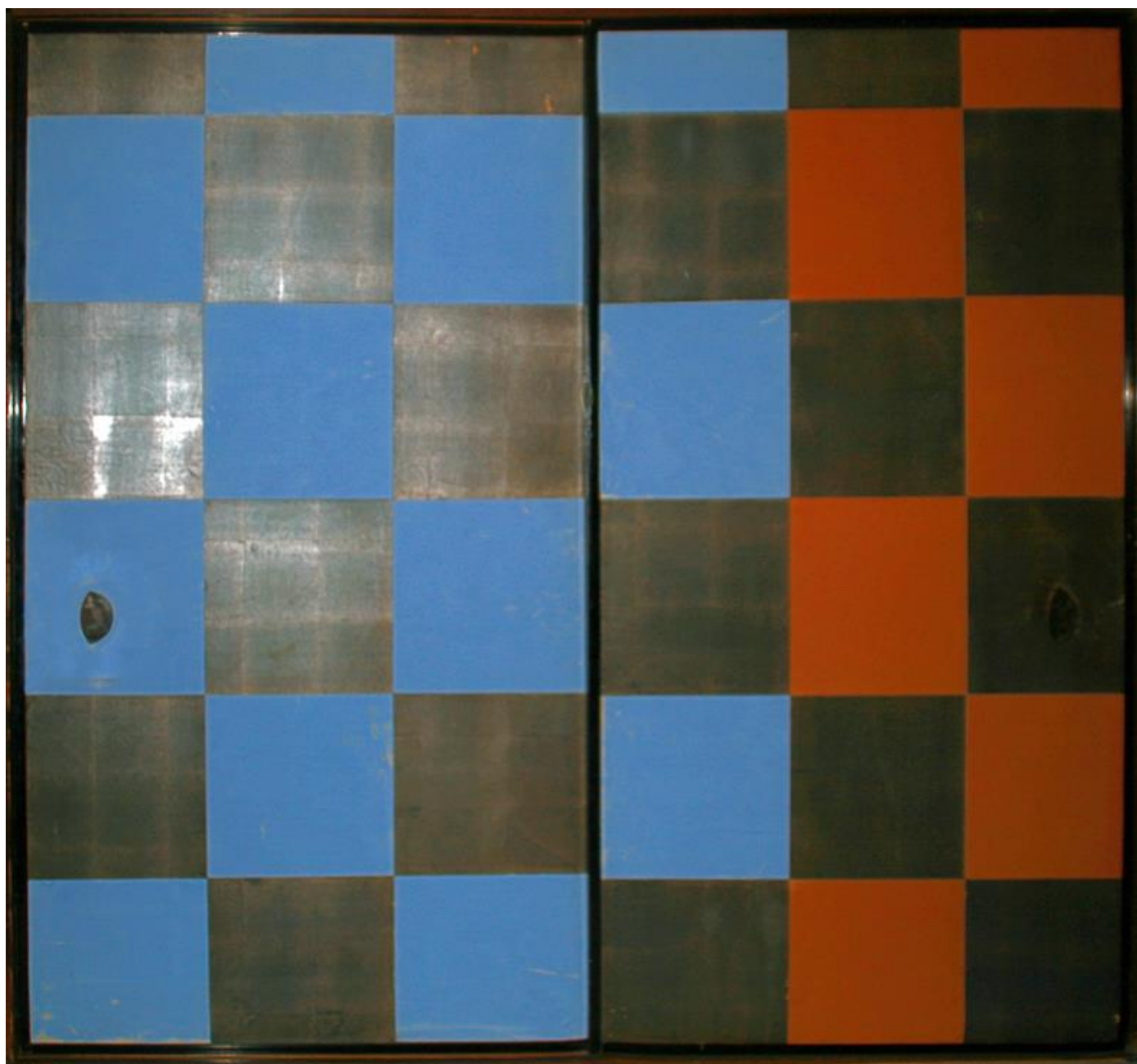


玄関の証明のデザイン



月波楼の障子腰板棧の吹き寄せデザイン





桂離宮の「松琴亭」の格子模様からヒントを得て、さらに色彩化した



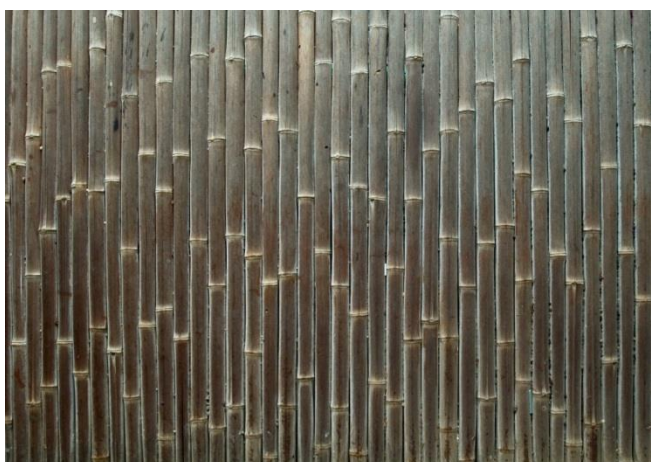
越智家の牡丹庵の小円窓は桂離宮の笑意軒からヒントを得たのであろうか 桂離宮の笑意軒



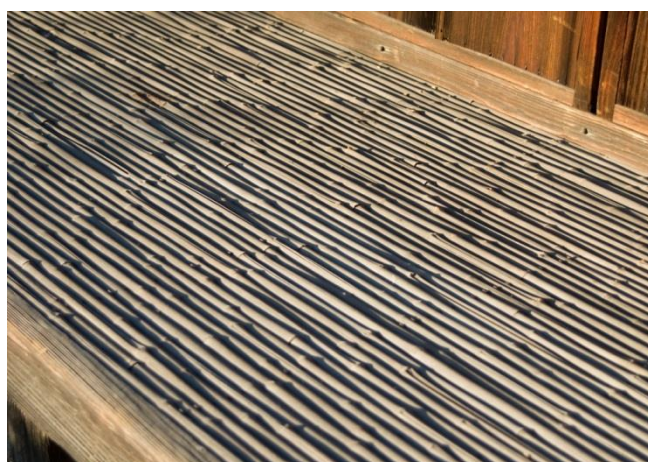
網干模様は修学院にヒント



修学院離宮



牡丹庵の廊下は竹からできているが修学院にヒント



修学院離宮・上の茶屋（隣雲亭）



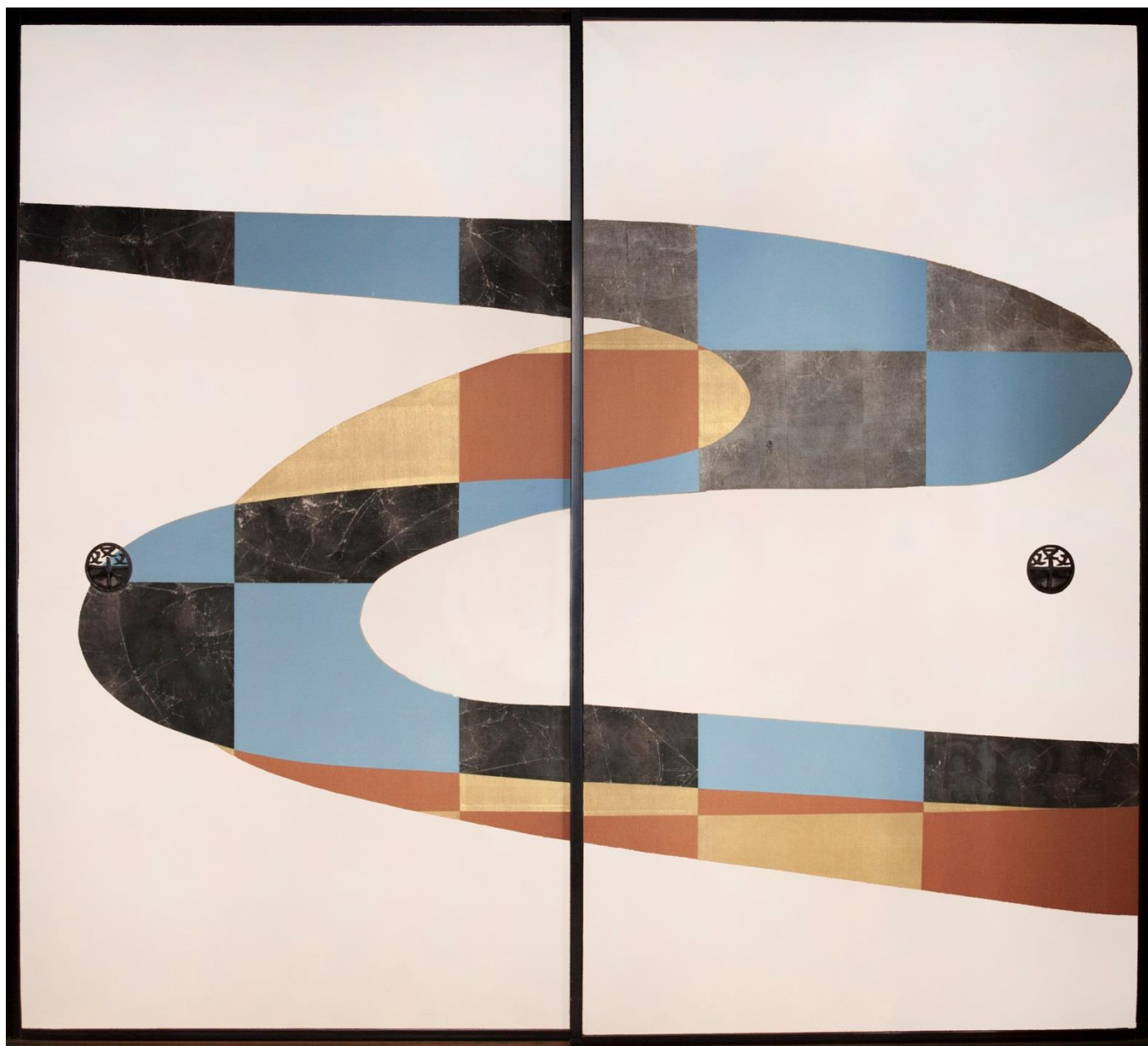
牡丹庵の砂雪隠は桂離宮のそれと類似

1・③桑田家（広島県福山市 S34）



サイズ（2595×1730・150 or 1650×1100・250 ）

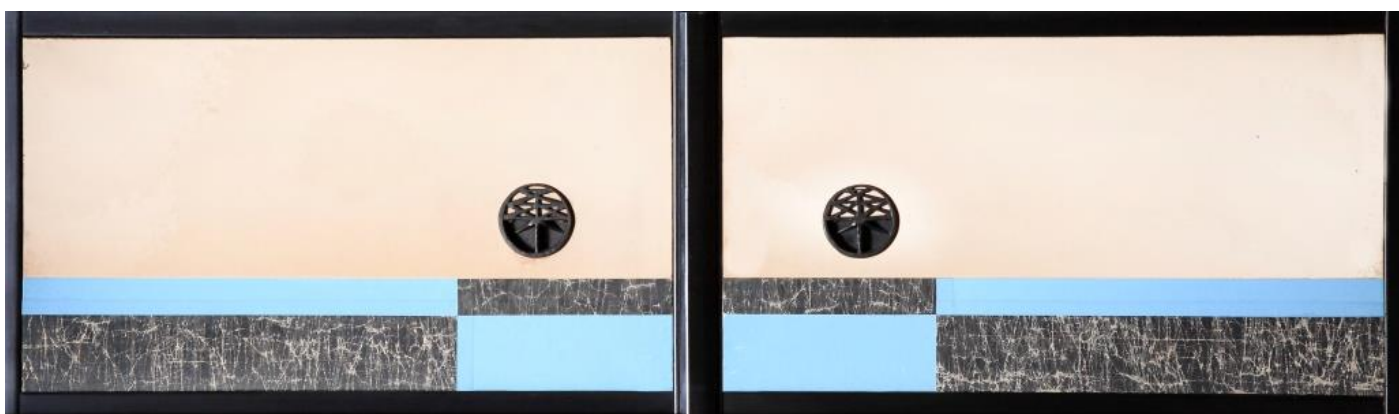




襖 2 枚に描かれた流水模様（写真サイズ：1885×1730・150）

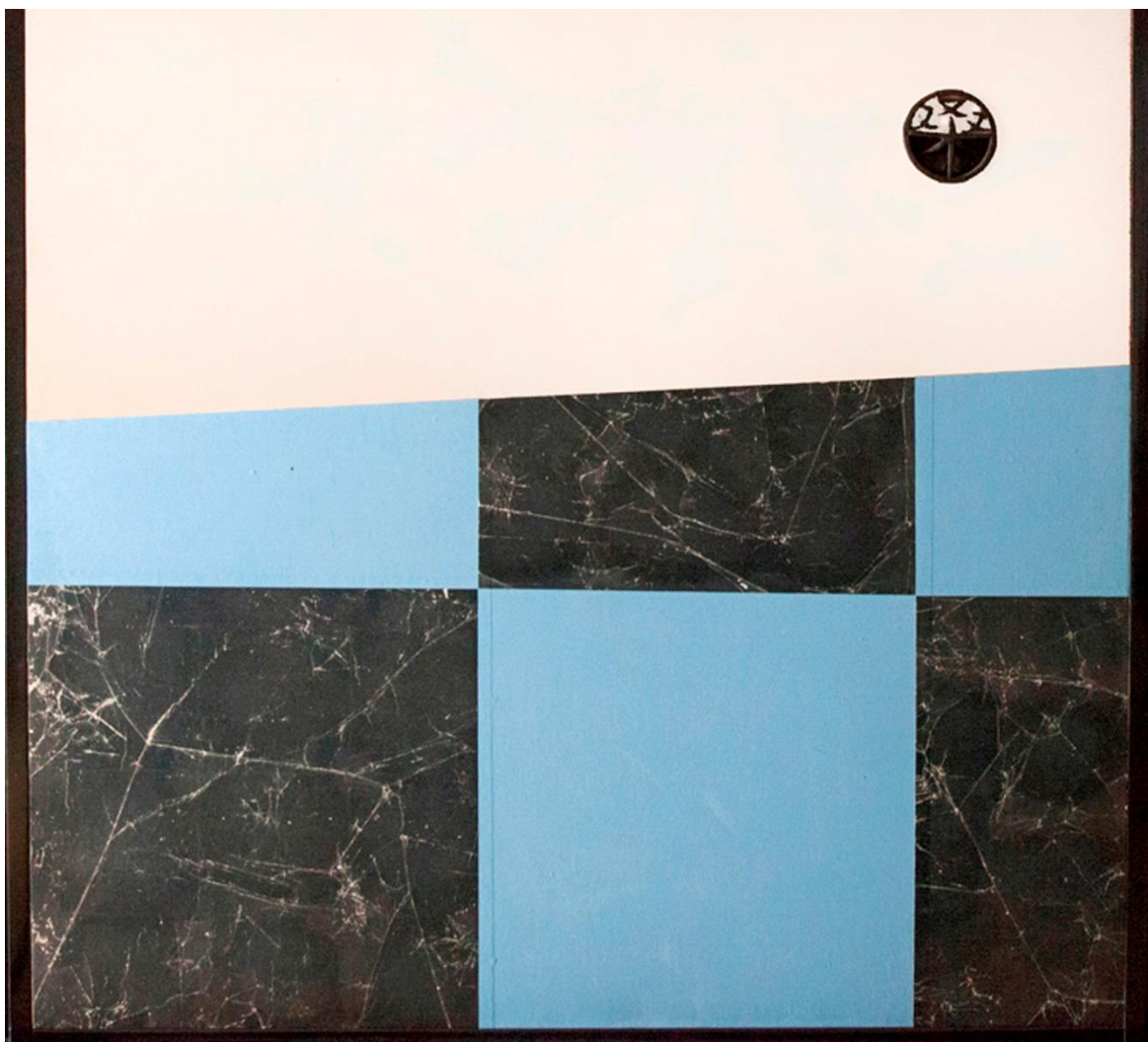


サイズ（3700×1730・150 実寸）





桑田家の引手：金槌の音が聞こえてくるようだ



8P 下部の襖模様を拡大(サイズ：965×900・250 実寸)

1・④村上家（島根県六日市 S34）



小襖 写真サイズ（1025×615・350N 実寸 or 1500×900・300 or 1833×1100・250）



水屋にある流水模様（下半分） 写真サイズ（1395－897・300）



流水模様 写真サイズ (1397×1640・200・実寸)

ちぎり絵 (1290×1710)



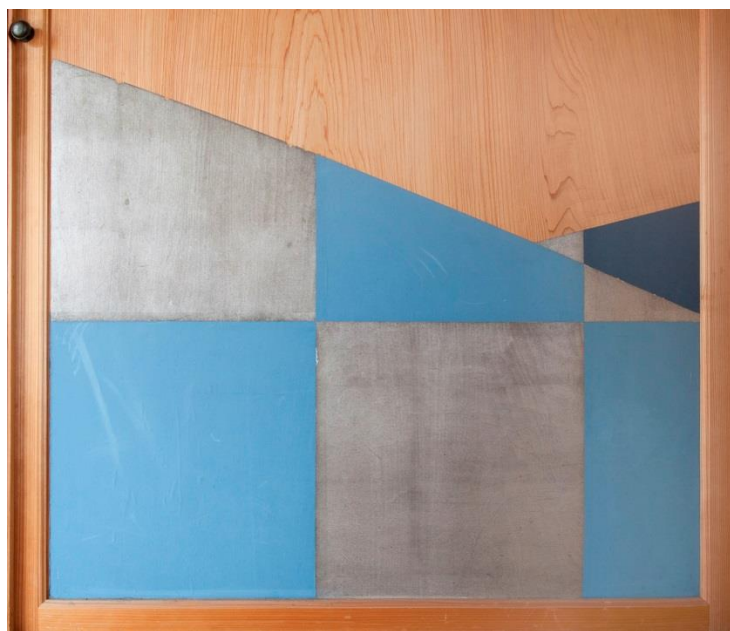
1750×1005 実寸



1730×902



写真サイズ (1820×1483・200 or 1350×1100・250)





違い棚と天袋



天袋のみ (1870×355・350 実サイズ)



中央の2枚を拡大 (973×360 実サイズ)



表の庭の写真サイズ（幅 905×高さ 490 実寸）



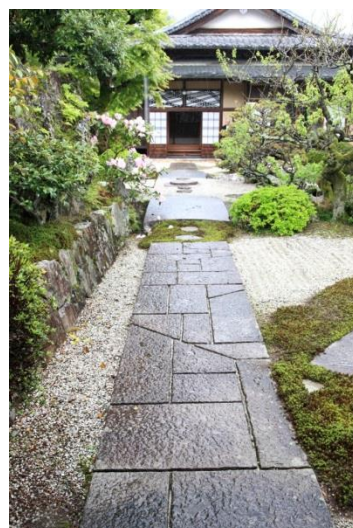
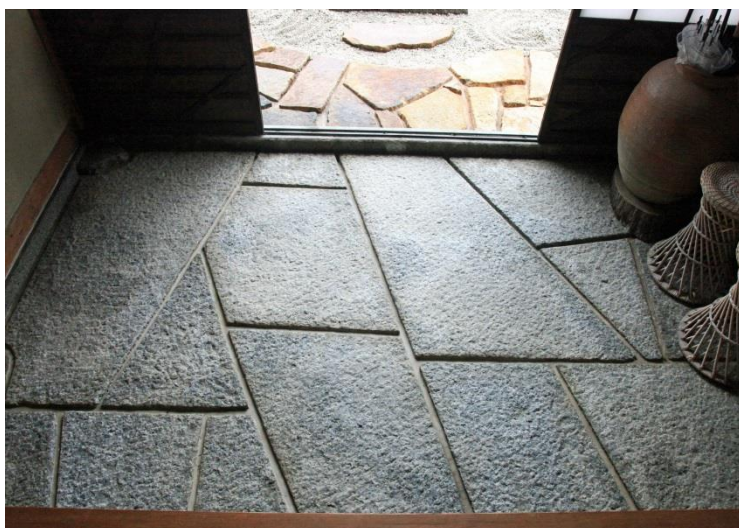
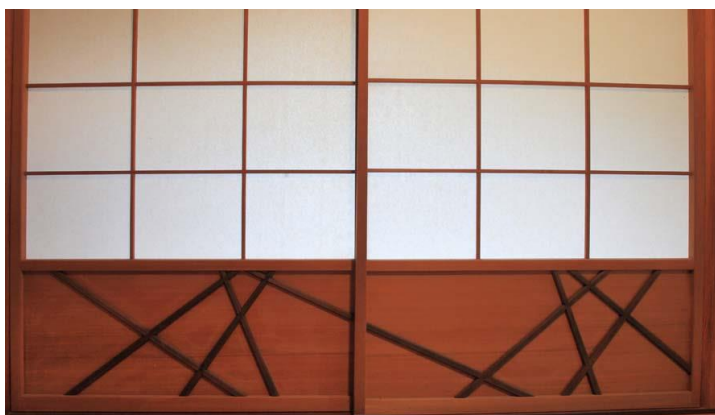
露地の写真サイズ（639×480・300 縁も含めた実寸）



玄関の表にある抽象デザイン（漢字の「村上」の抽象文字か）



襖模様三態：左より書院の襖・廊下に面した水屋への襖・水屋内の流水模様



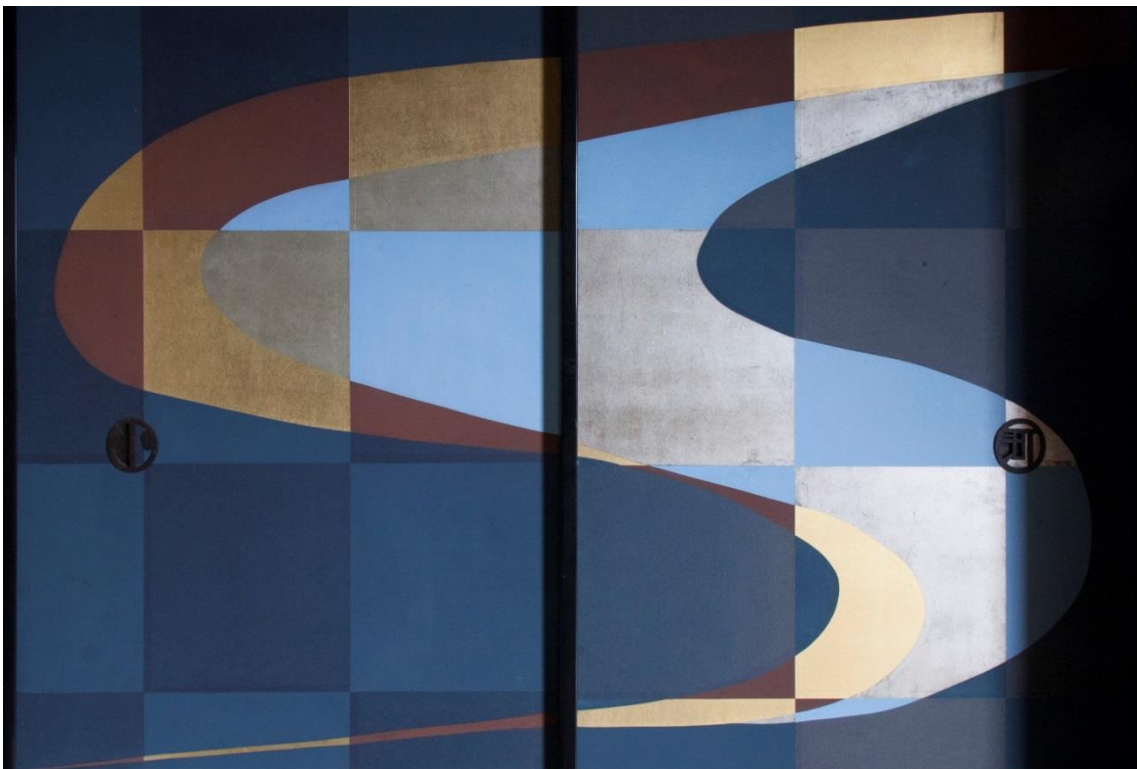
玄関の敷石デザイン

門から玄関への切石

1・⑤小河家（島根県益田市 S35）



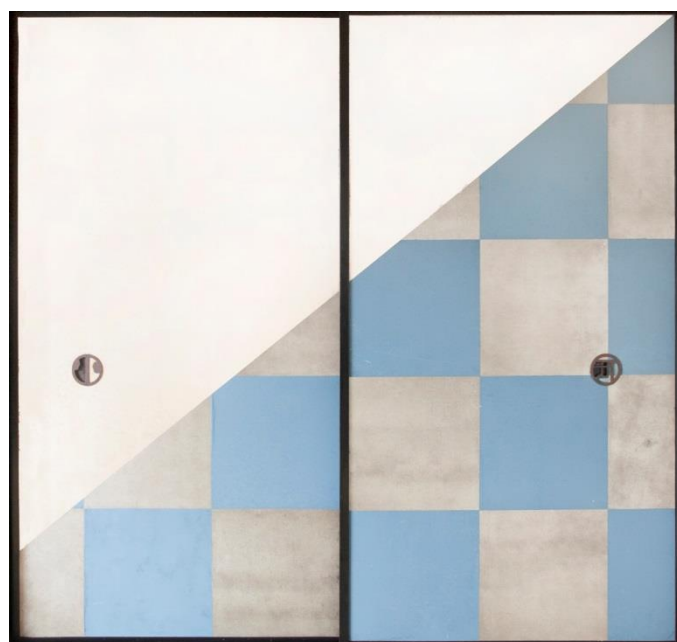
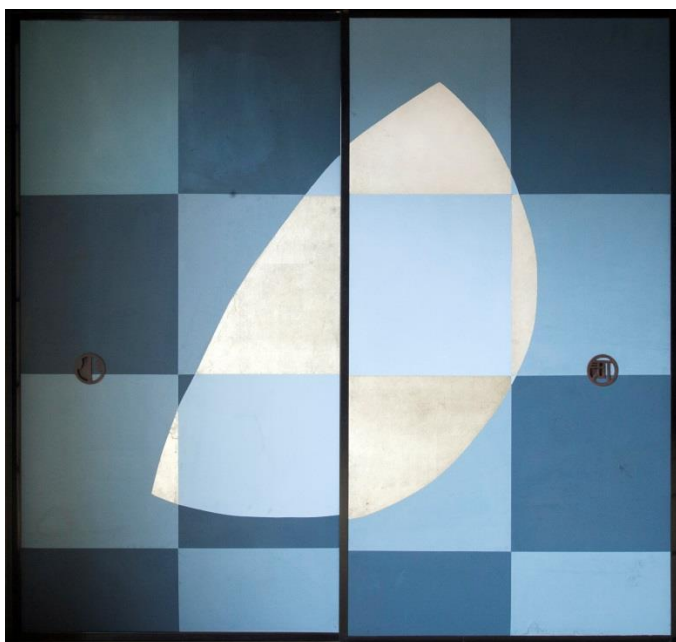
圧巻の流水模様 写真サイズ (1845-1758・200 実寸)



流水模様のみ 写真サイズ (1845-1240.200 実寸 or 1636-1100・200 に縮小)



襖四枚のサイズ (3630×1745・150 実寸)



この襖の裏側に前頁の流水模様がある

左右の写真サイズ (共に 1845×1745・200 実寸)



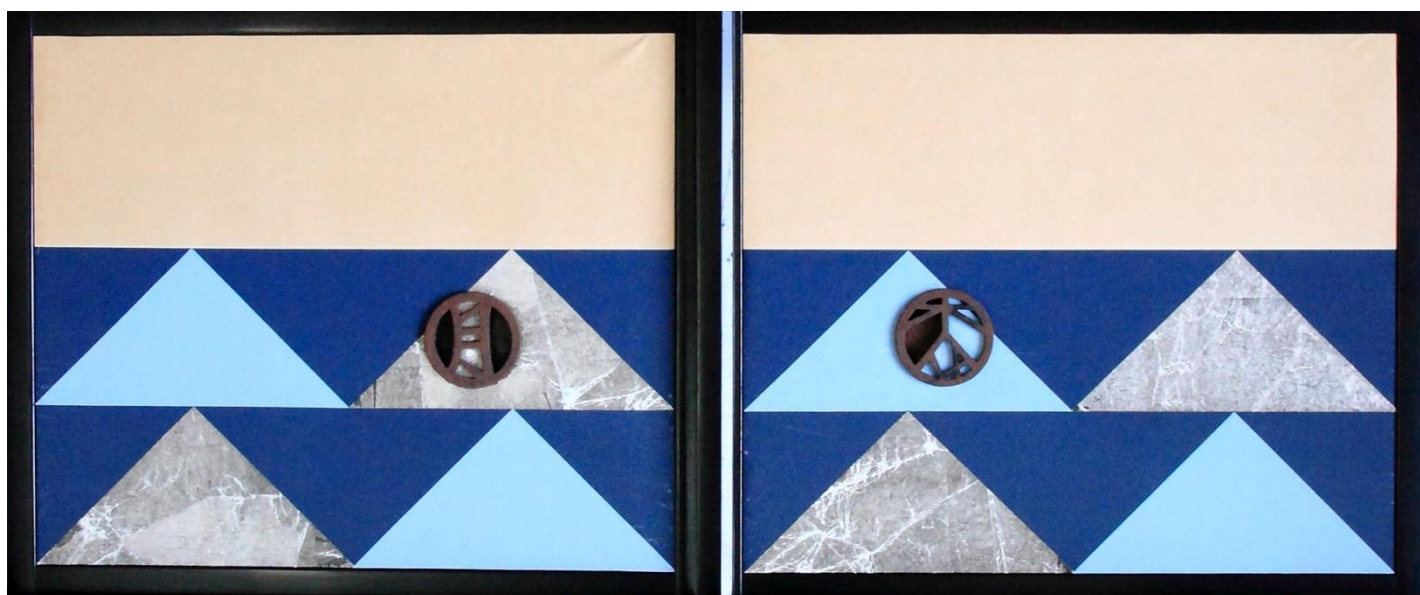
引手の「小」



引手の「河」



違い棚と天袋のデザイン



実サイズ (865×360)

2 露地と茶室

①増井家（香川県高松市 S31）



中央に中潜り、二重洲浜、外腰掛・内腰掛、創作の雲門垣、四方仏の蹲、また低い廊下は露地との一体感を醸し出す。



鎌倉時代の蹲と三尊石組み



奥には四方物の蹲と変形三尊石組み、雲門垣



中潜りの奥には内露地と雲門庵



雲門庵内部

2・②越智家（愛媛県西条市 S32）



立蹲踞と背景の腰には網干模様



立蹲踞



牡丹庵躰り口周辺



露地の奥には石鎚連邦の山並みが



門から玄関に至る切石の延段は桂離宮の「真の飛び石」からのヒントか（露地ではないが）



外腰掛（この背後には外雪隠がある）



牡丹庵には円窓が

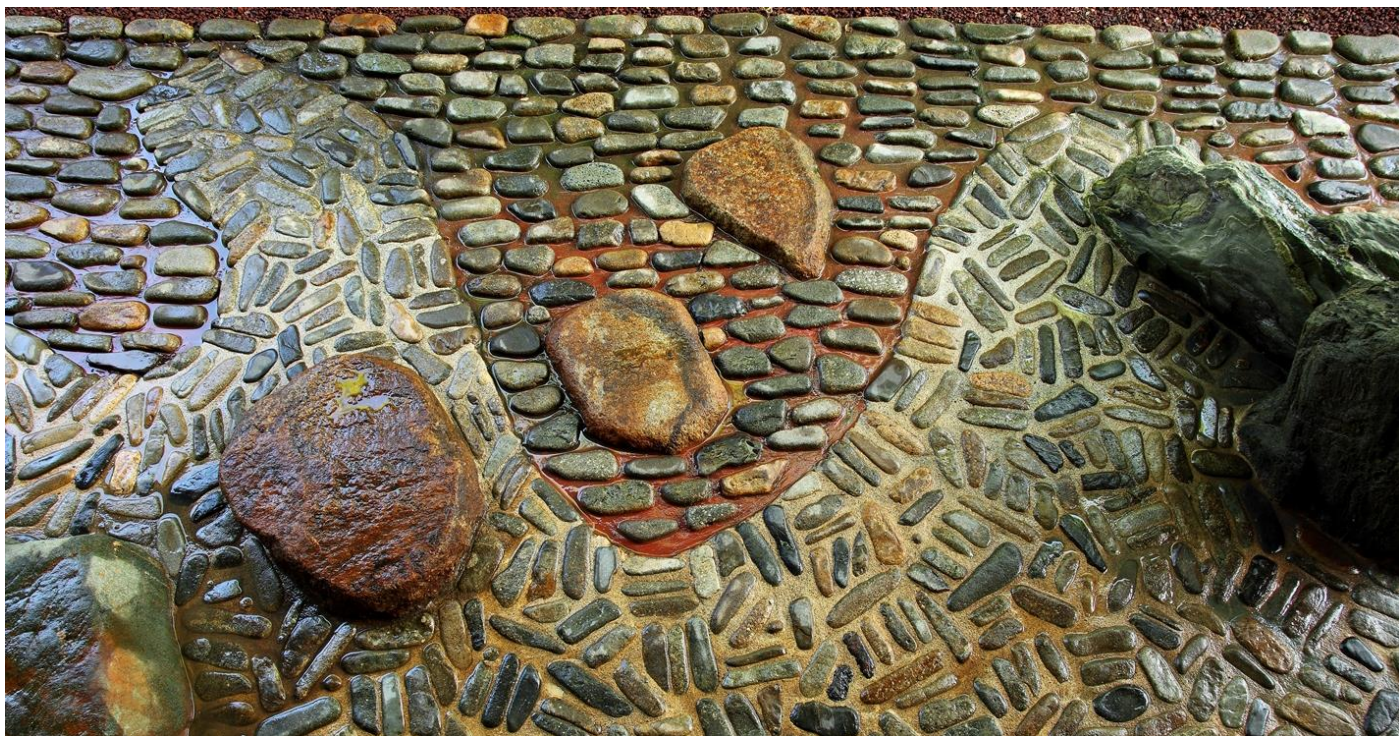
2・③桑田家（広島県福山市 S34）



2・④村上家（島根県六日市町 S34）



2・⑤小河家（島根県益田市 S35）



廓然庵の露地



小河家の古今庵は S38



古今庵の露地には四方仏の手水鉢



古今庵